

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-89363

(43) 公開日 平成4年(1992)8月4日

(51) Int. Cl.<sup>5</sup>

B 4 1 J 15/16

B 6 5 11 18/06

識別記号

庁内整理番号

8703-2C

7030-3F

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全3頁)

(21) 出願番号 実願平3-34222

(22) 出願日 平成3年(1991)4月17日

(31) 優先権主張番号 実願平2-73858

(32) 優先日 平2(1990)7月13日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000000295

沖電気工業株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

(72) 考案者 近藤 和洋

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気

工業株式会社内

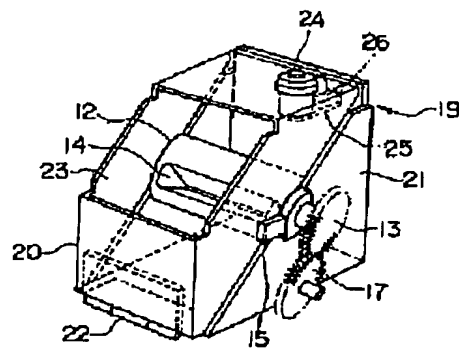
(74) 代理人 弁理士 金倉 喬二

(54) 【考案の名称】 ジャーナルカセット

(57) 【要約】

【構成】 上部ケース20と下部ケース21を開閉可能に結合し、その閉じ合わせ面に巻き取り軸12を回転可能に保持すると共に、この巻き取り軸12に巻き取られるジャーナル用紙2を印字部5から導き入れる開口部23を上部ケースに設け、かつ上部ケース20と下部ケース21の一方に両ケース20、21を閉じ合わせた状態に固定するシリンダー錠24を設けた。

【効果】 シリンダー錠を開錠できる金融機関の係員以外は印字済みのジャーナル用紙2に直接手を触れることができないので、ジャーナル用紙回収の際にその印字済みの情報を確実に保護することができ、安全性が得られるので信頼性も向上する。



- 12: 巻き取り軸
- 14: スリット
- 19: ジャーナルカセット
- 20: 上部ケース
- 21: 下部ケース
- 23: 開口部
- 24: シリンダー錠

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ジャーナルプリンタのジャーナル用紙収納部から供給され、印字部にて印字が行われたジャーナル用紙を導き入れる開口部を有する上部ケースと、この上部ケースと開閉可能に結合され、上部ケースと一体にジャーナルプリンタに着脱自在とした下部ケースと、前記上部ケースと下部ケースの閉じ合わせ面に回転可能に保持され、前記開口部から導入されたジャーナル用紙を巻き取る巻き取り軸と、前記上部ケースと下部ケースの一方に設けられ、両ケースを閉じ合わせた状態に固定するシリンドー錠とを備えたことを特徴とするジャーナルカセット。

【請求項2】 ジャーナルプリンタのジャーナル用紙収納部から供給され、印字部にて印字が行われたジャーナル用紙を導き入れる開口部を有する上部ケースと、この上部ケースと開閉可能に結合され、上部ケースと一体にジャーナルプリンタに着脱自在とした下部ケースと、前記上部ケースと下部ケースの閉じ合わせ面に回転可能に保持され、前記開口部から導入されたジャーナル用紙を巻き取る巻き取り軸と、前記上部ケースと下部ケースの一方に設けられ、両ケースを閉じ合わせた状態に固定するシリンドー錠と、ジャーナルプリンタの動力源から回転力を受けるために前記巻き取り軸に取り付けられた回転用ギアと、この回転用ギアと噛み合うように前記上部ケースと下部ケースの一方に取り付けられ、前記巻き取り軸がジャーナル用紙を巻き取り方向と逆の方向に回転することを防止するために一方向のみに回転するワンウェイクラッチを組み込んだ逆転防止用ギアとを備えたことを特徴とするジャーナルカセット。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 第1の考案によるジャーナルカセットの一実施例を示す斜視図である。

【図2】 図1のジャーナルカセットを装着したジャーナルプリンタの一例を示す側面図である。

【図3】 第1の考案によるジャーナルカセットの別の実施例を示す斜視図である。

【図4】 第2の考案によるジャーナルカセットの実施例を示す要部斜視図である。

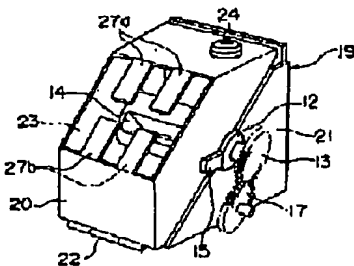
【図5】 図4のジャーナルカセットの側面図である。

【図6】 従来のジャーナルプリンタを示す側面図である。

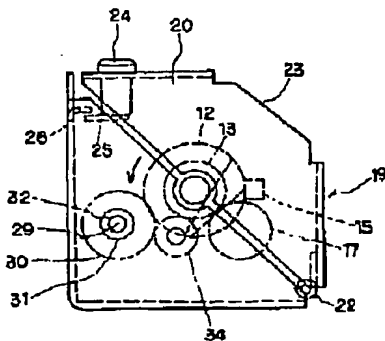
## 【符号の説明】

- 1 ジャーナル用紙収納部
- 2 ジャーナル用紙
- 3 コア
- 4 a, 4 b 搬送ローラ
- 5 印字部
- 6 プラテン
- 7 印字ヘッド
- 8 ジャーナル用紙巻き取り部
- 11 a, 11 b 搬送ローラ
- 12 巻き取り軸
- 13 回転用ギア
- 14 スリット
- 15 突起
- 16 検出スイッチ
- 19 ジャーナルカセット
- 20 上部ケース
- 21 下部ケース
- 23 開口部
- 24 シリンドー錠
- 25 ロック片
- 26 係合片
- 29 支持軸
- 30 逆転防止用ギア
- 32 ワンウェイクラッチ
- 34 アイドルギア

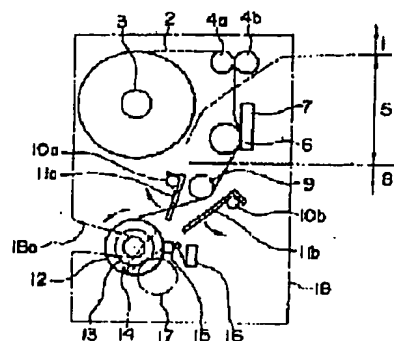
【図3】



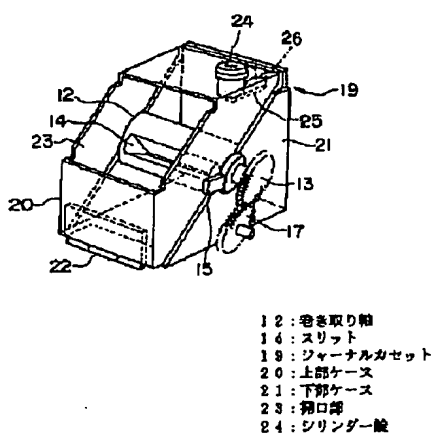
【図5】



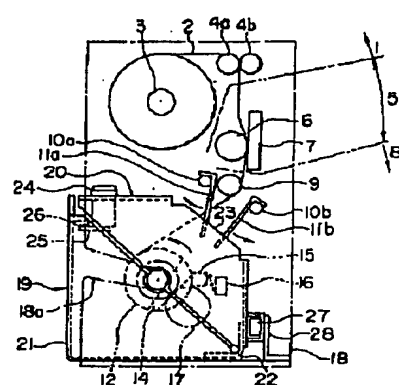
【図6】



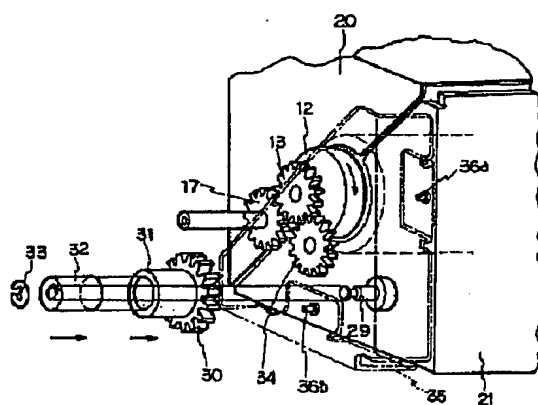
【図1】



【図2】



【図4】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、金融機関等に設置される自動取引装置等に組み込まれるジャーナルプリンタに関するもので、特に印字後のジャーナル用紙の巻き取り軸を備えたジャーナルプリンタ用のカセットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

図6は従来のこの種のジャーナルプリンタの構造を示す側面図である。

図において1はジャーナル用紙収納部で、このジャーナル用紙収納部1は、ジャーナル用紙2を巻き付けたコア3と、一対の搬送用ローラ4a、4bにより構成されている。

5は搬送用ローラ4a、4bにより供給されるジャーナル用紙2に印字を行う印字部で、この印字部5は、ローラ状のプラテン6と、このプラテン6に対向させた印字ヘッド7により構成され、ここで印字ヘッド7は印字時に図示しないスプリング等の付勢手段によりジャーナル用紙2を介してプラテン6に当接し、非印字時には図示しないソレノイド等の移動機構によりプラテン6から離間されるようになっている。

【0003】

8はジャーナル用紙巻き取り部で、このジャーナル用紙巻き取り部8は、ガイドローラ9と、それぞれ支点10a、10bを中心に回転することにより開閉する一対のガイド部材11a、11bと、巻き取り軸12と、この巻き取り軸12の一端に同軸に設けられた回転用ギア13及び突起15により構成されており、ここで巻き取り軸12には、その中心部を避けて径方向に貫通する楔状のスリット14が設けられている。

16は前記突起15を検出するスイッチ、17は図示しないモータ等からの動力を前記回転用ギア13に伝達する伝達ギア、18は左右一対のプリンタフレームで、このプリンタフレーム18間に前記各構成要素が取り付けられており、特に巻き取り軸12はプリンタフレーム18に設けられたガイド溝18aにより容

易に着脱できるようになっている。

【0004】

この構成の作用は次の通りである。

まず、ジャーナル用紙2をセットする場合は、巻き取り軸12の両端をプリンタフレーム18のガイド溝18aに入れ、その閉止端まで押し込んでおく。

また、印字ヘッド7を図示しない移動機構によってプラテン6から離間させておき、ガイド部材11a、11bは支点10a、10bを中心に回転させて閉じた状態にしておく。

そして、巻き取り軸12を図示しないモータ等により伝達ギア17及び回転用ギア13を介して矢印方向に回転させ、突起15をスイッチ16が検出した位置で巻き取り軸12を停止させる。

これによりスリット14は幅の広い部分がガイド部材11a、11b側になるように、該ガイド部材11a、11bとほぼ一直線状を成す位置で停止される。

【0005】

この状態でコア3に巻き付けられているジャーナル用紙2の先端部を搬送ローラ4a、4b間に挟持させた後、該搬送ローラ4a、4b及びプラテン6を所定方向に回転させると、ジャーナル用紙2の先端部はプラテン6と印字ヘッド7の間に導かれ、更にガイド部材11a、11b間を通してスリット14に進入する。

そして、ジャーナル用紙2の先端部は更に送られてスリット14から突出するので、その後ガイド部材11a、11bを支点10a、10bを中心に回転させて開き、ここで巻き取り軸12を前記モータ等により伝達ギア17及び回転用ギア13を介して矢印方向に数回転させると、ジャーナル用紙2は巻き取り軸12に巻き付けられるので、これによりジャーナル用紙2のセットは完了する。

【0006】

その後、このプリンタが組み込まれている自動取引装置で取引が行われると、印字ヘッド7がジャーナル用紙2を介してプラテン6に当接して、該印字ヘッド7によりジャーナル用紙2に取引データが印字されると共に、この印字に伴って搬送ローラ4a、4b、プラテン6、及び巻き取り軸12が回転され、ジャーナ

ル用紙2が巻き取り軸12に巻き取られる。

以後、印字毎に同様にジャーナル用紙2の巻き取りが行われる。

印字済みのジャーナル用紙2の回収は、コア3からすべてジャーナル用紙2が繰り出された後、あるいは必要に応じてプラテン6とガイドローラ9間に配置された図示しないカットによりジャーナル用紙2が途中で切断された後、巻き取り軸12をプリンタフレーム18の溝18aから抜き取ることにより行われる。

【0007】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら上述した従来の技術では、以下の問題がある。

すなわち、自動取引装置に組み込まれるジャーナルプリンタにおいて、ジャーナル用紙に印字される内容の中には、取引者以外の者に知られると悪用される可能性のあるものや、他人に知られたくない内容も含まれているが、印字済みのジャーナル用紙は巻き取り軸に巻き取られた状態のまま取り外されて回収されるため、ジャーナル用紙を回収する作業員はその印字内容を見ることが可能であり、そのためジャーナル用紙の印字内容を保護する上で、安全性に欠けるという問題がある。

ジャーナルプリンタからジャーナル用紙を回収する作業員は、必ずしも金融機関の係員に限られるものではなく、特に近年においては自動取引装置の夜間運用や休日運用の際、自動取引装置の現金処理機に対する現金の装填、補充、回収、及びジャーナルプリンタに対するジャーナル用紙のセット、回収を金融機関の係員が行わず、警備会社等に委託してそこから派遣される作業員が行う場合が多くなってきており、そのため警備会社等の作業員が印字済みのジャーナル用紙を直接手にふれることができないようにすることが、印字内容を保護する上からも、またその作業員の心理的負担を軽減する意味からも望まれている。

【0008】

本考案は、このような問題を解決するためになされたもので、ジャーナル用紙の印字内容を確実に保護することができ、安全性に優れると共に、回収を行う警備会社等の作業員の心理的負担をも軽減することができるジャーナルプリンタ用のジャーナルカセットを実現することを目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】

この目的を達成するため、本考案は次の通りである。

第1の考案は、ジャーナルプリンタのジャーナル用紙収納部から供給され、印字部にて印字が行われたジャーナル用紙を導き入れる開口部を有する上部ケースと、この上部ケースと開閉可能に結合され、上部ケースと一体にジャーナルプリンタに着脱自在とした下部ケースと、前記上部ケースと下部ケースの閉じ合わせ面に回転可能に保持され、前記開口部から導入されたジャーナル用紙を巻き取る巻き取り軸と、前記上部ケースと下部ケースの一方に設けられ、両ケースを閉じ合わせた状態に固定するシリンダー錠とを備えたことを特徴とする。

【0010】

また、第2の考案は、ジャーナルプリンタのジャーナル用紙収納部から供給され、印字部にて印字が行われたジャーナル用紙を導き入れる開口部を有する上部ケースと、この上部ケースと開閉可能に結合され、上部ケースと一体にジャーナルプリンタに着脱自在とした下部ケースと、前記上部ケースと下部ケースの閉じ合わせ面に回転可能に保持され、前記開口部から導入されたジャーナル用紙を巻き取る巻き取り軸と、前記上部ケースと下部ケースの一方に設けられ、両ケースを閉じ合わせた状態に固定するシリンダー錠と、ジャーナルプリンタの動力源から回転力を受けるために前記巻き取り軸に取り付けられた回転用ギアと、この回転用ギアと噛み合うように前記上部ケースと下部ケースの一方に取り付けられ、前記巻き取り軸がジャーナル用紙を巻き取り方向と逆の方向に回転することを防止するために一方向のみに回転するワンウェイクラッチを組み込んだ逆転防止用ギアとを備えたことを特徴とする。

【0011】

【作用】

上述した構成を有する第1の考案では、ジャーナルカセットをプリンタフレームに取り付け、ジャーナル用紙収納部から印字部を通して供給されるジャーナル用紙を巻き取り軸に巻き付けた後、印字部でジャーナル用紙に印字を行って、そのジャーナル用紙を巻き取り軸により巻き取る。

そして、ジャーナル用紙を回収するときはジャーナル用紙の終端が上部ケースに設けられた開口部から内部に入るまで巻き取った後、ジャーナルカセットごとプリンタフレームから抜き取って回収し、後で金融機関の係員によりシリンダ錠を開錠して上部ケースと下部ケースを開いて巻き取り軸を取り出す。

従ってこれによれば、シリンダ錠を開錠できる金融機関の係員以外は印字済みのジャーナル用紙に直接手を触れることができないので、ジャーナル用紙回収の際にその印字内容を確実に保護することができ、安全性が得られると共に、ジャーナル用紙の回収を警備会社等に委託して行う場合でも、その警備会社等の作業員はジャーナル用紙に直接手を触れることができないので、その作業員の心理的負担をも軽減することができる。

【0012】

また、第2の考案も、第1の考案と同様にジャーナル用紙を巻き取り軸により巻き取る。

従って、同様の効果が得られるが、これに加えて、ジャーナルカセットをジャーナルプリンタから取り外した後、上部ケースの開口部から特殊な針金状の道具やピンセット等を差し込んでジャーナル用紙を引っかけたりあるいは摘んだりして引き出そうとしても、巻き取り軸に取り付けられた回転用ギアと噛み合っている逆転防止用ギアの回転規制手段により、この逆転防止用ギアがロックされるため巻き取り軸が回転せず、これによりジャーナル用紙の引き出しを防止することができるため、より安全なジャーナルカセットが実現される。

【0013】

【実施例】

以下図面を参照して実施例を説明する。

図1は第1の考案によるジャーナルカセットの一実施例を示す斜視図、図2は図1のジャーナルカセットを装着したジャーナルプリンタの一例を示す側面図である。

まず、図2において、1はジャーナル用紙収納部、2はジャーナル用紙、3はコア、4aと4b搬送用ローラ、5はジャーナル印字部、6はプラテン、7は印字ヘッド、8はジャーナル用紙巻取部、9はガイドローラ、10aと10bは支



点、11aと11bはガイド部材、12は巻き取り軸、13は回転用ギア、14はスリット、15は突起、16はスイッチ、17は伝達ギア、18はプリンタフレーム、18aはガイド溝であり、これらは従来のものに相当するので同一の符号により示し、その説明を省略する。

【0014】

19はジャーナルカセットで、このジャーナルカセット19は、図1に示すように前記巻き取り軸12と共に以下の部品により構成されている。

すなわち、20と21は箱体を対角線で2分割した形状に形成された上部ケースと下部ケースであり、両ケース20と21は互いの一端が蝶番22で結合されていて、この蝶番22により開閉自在となっている。

そして上部ケース20には、三角形の頂部に当たる部分を切り欠いてジャーナル用紙2を導き入れるための開口部23が設けられており、更にこの上部ケース20と下部ケース21は、互いに閉じ合わせたとき、その閉じ合わせ面の中央部に前記巻き取り軸12を回転自在に保持するようになっている。

尚、前記開口部23は、指を差し込めない寸法として、巻き取り軸12に巻き取られた印字済みのジャーナル用紙2の開口部23からの引き出しを防止できるようにしている。

【0015】

24は上部ケース20の他端に設けられたシリンドー錠で、その一端にはロック片25が設けられ、このロック片25と係合して上部ケース20と下部ケース21をとじた状態に固定する係合片26が下部ケース21の他端に形成されている。27は下部ケース21の背面側に設けられたマグネットで、このマグネット27に対応するストッパ金具28が前記プリンタフレーム18側に固定されている。

【0016】

次に、上述した構成の作用について説明する。

まず、ジャーナル用紙2をセットする場合は、ジャーナルカセット19の上部ケース20と下部ケース21に保持された巻き取り軸12の両端をプリンタフレーム18のガイド溝18aに入れて、ジャーナルカセット19をマグネット27

がストッパ金具 28 に突き当たるまでプリンタフレーム 18 間に押し込む。

これによりマグネット 27 がストッパ金具 28 に吸着し、ジャーナルカセット 19 がプリンタフレーム 18 間に固定されると共に、巻き取り軸 12 がガイド溝 18a の閉止端に位置付けられる。

一方、印字ヘッド 7 は従来と同様に図示しない移動機構によりプラテン 6 から離間させておく。また、ガイド部材 11a, 11b も従来と同様に支点 10a, 10b を中心に回転させて閉じた状態にしておくが、このときガイド部材 11a, 11b の先端はジャーナルカセット 19 の上部ケース 20 に設けられた開口部 23 からその内側に入り込む。

#### 【0017】

更に、巻き取り軸 12 を図示しないモータ等により伝達ギア 17 及び回転用ギア 13 を介して矢印方向に回転させ、突起 15 をスイッチ 16 が検出した位置で巻き取り軸 12 を停止させると、これによりスリット 14 は幅の広い部分をガイド部材 11a, 11b 側になるように、該ガイド部材 11a, 11b とほぼ一直線状を成す位置で停止される。

この状態でコア 3 に巻き付けられているジャーナル用紙 2 の先端部を搬送ローラ 4a, 4b 間に挟持させた後、該搬送ローラ 4a, 4b 及びプラテン 6 を所定方向に回転させると、ジャーナル用紙 2 の先端部はプラテン 6 と印字ヘッド 7 の間に導かれ、更にガイド部材 11a, 11b 間を通過してスリット 14 に進入する。

そして、ジャーナル用紙 2 の先端部は更に送られてスリット 14 から突出するので、その後ガイド部材 11a, 11b を支点 10a, 10b を中心に回転させて開く。

#### 【0018】

これによりガイド部材 11a, 11b の先端は上部ケース 20 の開口部 23 からジャーナルカセット 19 の外側に抜け出て退避する。

ここで、巻き取り軸 12 を前記モータ等により伝達ギア 17 及び回転用ギア 13 を介して矢印方向に数回転させると、ジャーナル用紙 2 は巻き取り軸 12 に巻き付けられ、これによりジャーナル用紙 2 のセットは完了する。

その後、このプリンタが組み込まれている自動取引装置で取引が行われると、印字ヘッド 7 がジャーナル用紙 2 を介してプラテン 6 に当接して、該印字ヘッド 7 によりジャーナル用紙 2 に取引データが印字されると共に、この印字に伴って搬送ローラ 4 a、4 b、プラテン 6、及び巻き取り軸 1 2 が回転され、ジャーナル用紙 2 が巻き取り軸 1 2 に巻き取られる。

以後、印字毎に同様にジャーナル用紙 2 の巻き取りが行われる。

#### 【 0 0 1 9 】

印字済みのジャーナル用紙 2 の回収は、コア 3 からすべてジャーナル用紙 2 が繰り出され、その終端がジャーナルカセット 1 9 内に入るまで巻き取られた後、あるいは必要に応じてプラテン 6 とガイドローラ 9 間に配置された図示しないカッタによりジャーナル用紙 2 が途中で切断されて、その切断端がジャーナルカセット 1 9 内に入るまで巻き取られた後、ジャーナルカセット 1 9 をプリンタフレーム 1 8 間から抜き取ることにより行われる。

この場合、ジャーナルカセット 1 9 は前記したようにマグネット 2 7 をストッパ金具 2 8 に吸着させることでプリンタフレーム 1 8 間に固定してあるため、容易に抜き取ることができ、それに伴って巻き取り軸 1 2 もプリンタフレーム 1 8 の溝 1 8 a から外れる。

その後、このジャーナルカセット 1 9 を金融機関の所定の係員の所まで運び、その係員が保管している図示しないキーによりシリンダー錠 2 4 を回転させてロック片 2 5 と係合片 2 6 の係合を解除することにより開錠し、蝶番 2 0 を中心に上部ケース 2 0 と下部ケース 2 1 を開いて、ジャーナル用紙 2 を巻き取った巻き取り軸 1 2 をジャーナルカセット 1 9 から取り出す。

#### 【 0 0 2 0 】

図 3 は第 1 の考案によるジャーナルカセット 1 9 の他の実施例を示す斜視図であり、上部ケース 2 0 の開口部 2 3 に突出片 2 7 a、2 7 b を対向するように形成したものである。

すなわち、上述した図 1 の実施例では、開口部 2 3 を指を差し込めない広さとして、巻き取り軸 1 2 に巻き取られた印字済みのジャーナル用紙 2 の開口部 2 3 からの引き出しを防止しているが、この実施例では、突出片 2 7 a、2 7 b を形

成することによりジャーナル用紙 2 の開口部 23 からの引き出し防止をより確実なものにしている。

この場合、ガイド部材 11a, 11b の先端部を櫛歯状に形成して、突出片 27a 間, 27b 間からそれぞれ出入できるようにしておけば、開閉動作を支障なく行うことができるので、図 1 の実施例と同様にジャーナル用紙 2 の巻き取り回収が可能となる。

#### 【0021】

図 4 は第 2 の考案によるジャーナルカセット 19 の実施例を示す要部斜視図、図 5 は図 4 のジャーナルカセットの側面図である。

図において 29 は下部ケース 21 の外側に設けられた支持軸、30 は逆転防止用ギア、31 はこの逆転防止用ギア 30 の片面に設けられた筒状のクラッチ装着部、32 はワンウェイクラッチ（回転方向規制手段）、33 は E リング等の止め金具で、前記ワンウェイクラッチ 32 は逆転防止用ギア 30 のクラッチ装着部 31 に挿入され、逆転防止用ギア 30 と共に支持軸 29 に嵌め込まれて、止め金具 31 により固定されている。

#### 【0022】

34 は巻き取り軸 12 の回転用ギア 13 と前記逆転防止用ギア 30 にそれぞれ噛み合わせて下部ケース 21 の外側に軸支したアイドルギア、35 は前記逆転防止用ギア 30 とアイドルギア 34 を覆ように配置して下部ケース 21 の内側からネジ 36a, 36b により固定した保護カバーであり、この保護カバー 35 は前記回転用ギア 13, 逆転防止用ギア 30, 及びアイドルギア 34 が外側から取り外されるのを防止するもので、従ってこれら各ギア 13, 30, 34 が外側から取り外せないように取り付けられていれば必ずしもこの保護カバー 35 は必要ではない。

尚、この他の構成は図 1 の実施例と同様であり、無論図 3 の実施例のように開口部 23 に突出片 27a, 27b を形成するものとしてもよい。

#### 【0023】

このような構成によるジャーナルカセット 19 は図 1 の実施例と同様にジャーナルプリンタにセットされ、同様に印字済みのジャーナル用紙 2 を巻き取り軸 1

2の矢印方向に回転により巻き取る。

この巻き取り軸12の回転力はアイドルギア34を介して逆転防止用ギア30に伝達されるが、このとき逆転防止用ギア30のクラッチ装着部31と支持軸29との間に介在しているワンウェイクラッチ32は逆転防止用ギア30の回転を阻止しないように予め回転方向が設定されているため、ジャーナル用紙2の巻き取りは支障なく行われる。

#### 【0024】

印字済みのジャーナル用紙2の回収も、図1の実施例と同様に、コア3からすべてジャーナル用紙2が繰り出され、その終端がジャーナルカセット19内に入るまで巻き取られた後、あるいは必要に応じてブラテン6とガイドローラ9間に配置された図示しないカッタによりジャーナル用紙2が途中で切断されて、その切断端がジャーナルカセット19内に入るまで巻き取られた後、ジャーナルカセット19をプリンタフレーム18間から抜き取ることにより行われる。

この場合、抜き取ったジャーナルカセット19の開口部23から特殊な針金状の道具やピンセット等を差し込んでジャーナル用紙2を引っ掛けたりあるいは摘んだりして引き出そうとしても、このときは巻き取り軸12が回転せず、ジャーナル用紙2の引き出しは防止される。

#### 【0025】

すなわち、前記道具やピンセット等でジャーナル用紙2を引っ張ると巻き取り軸12に回転力が加わり、その力はアイドルギア34を介して逆転防止用ギア30に伝達されるが、このときワンウェイクラッチ32は逆転防止用ギア30を支持軸29をロックしてその回転を阻止するために巻き取り軸12は回転できず、これによりジャーナル用紙2の引き出しは防止される。

従って、ジャーナル用紙2は金融機関の係員が図示しないキーによりシリンダー錠24を回転させてロック片25と係合片26の係合を解除して巻き取り軸12をジャーナルカセット19から取り出さない限り、確実にジャーナルカセット19内に保持される。

#### 【0026】

尚、上述した各実施例では、上部ケース20と下部ケース21を方形箱体を対

角線で2分割した形状に形成するものとしたが、これに限られるものではなく、必要に応じて任意の形状にすることが可能である。

また、上述した各実施例では、上部ケース20にロック片25を有するシリンダー錠24を設け、下部ケース21に前記ロック片25と係合する係合片26を設けた構成としたが、逆に設けてもよいことは無論である。

#### 【0027】

##### 【考案の効果】

以上説明したように第1の考案は、開閉可能に結合した上部ケースと下部ケースの閉じ合わせ面に巻き取り軸を回転可能に保持し、上部ケースに設けた開口部から印字済みのジャーナル用紙を導入して巻き取り軸で巻き取ると共に、印字後のジャーナル用紙をジャーナルカセット内に収容した状態で回収し、後で金融機関の係員によりシリンダー錠を開錠して上部ケースと下部ケースを開いて巻き取り軸を取り出すようにしている。

従ってこれによれば、シリンダー錠を開錠できる金融機関の係員以外は印字済みのジャーナル用紙に直接手を触れることができないので、ジャーナル用紙回収の際にその印字内容を確実に保護することができ、安全性が得られるので信頼性を向上させることができるという効果が得られる。

また、ジャーナル用紙の回収を警備会社等に委託して行う場合でも、その警備会社等の作業員はジャーナル用紙に直接手を触れることができないので、その作業員の心理的負担をも軽減することができるという効果も得られる。

また、第2の考案は、第1の構成に加えて巻き取り軸がジャーナル用紙を巻き取り方向と逆の方向に回転することを防止するために一方向のみに回転する回転規制手段を組み込んだ逆転防止用ギアを前記巻き取り軸に取り付けられた回転用ギアと噛み合うように設けているため、開口部から特殊な針金状の道具やピンセット等を差し込んでジャーナル用紙を引っ掛けたりあるいは摘んだりして引き出そうとしても、巻き取り軸が回転せずにジャーナル用紙の引き出しを防止することができ、そのため、より安全なジャーナルカセットが実現されるという効果が得られる。

Appendix

CONCISE STATEMENT OF RELEVANCY BETWEEN THE  
INVENTION AND MATERIALS

JP-UM-A-4-89363

This publication discloses a journal cassette having an upper case 20 and a lower case 21 openably connected with each other. The journal cassette is provided with a winding shaft 12 that is rotatably supported on a plain defined by the opposed edges of the upper case 20 and the lower case 21 when the upper case 20 and the lower case 21 are closed. The upper case 20 has an opening portion 23 for bringing journal paper 2 into the cassette from a printing portion 5. One of the upper case 20 and the lower case 21 includes a cylinder lock for locking the upper case 20 and the lower case 21 in a closed state.